（別紙）

①路上工事抑制カレンダーの効果の検証について

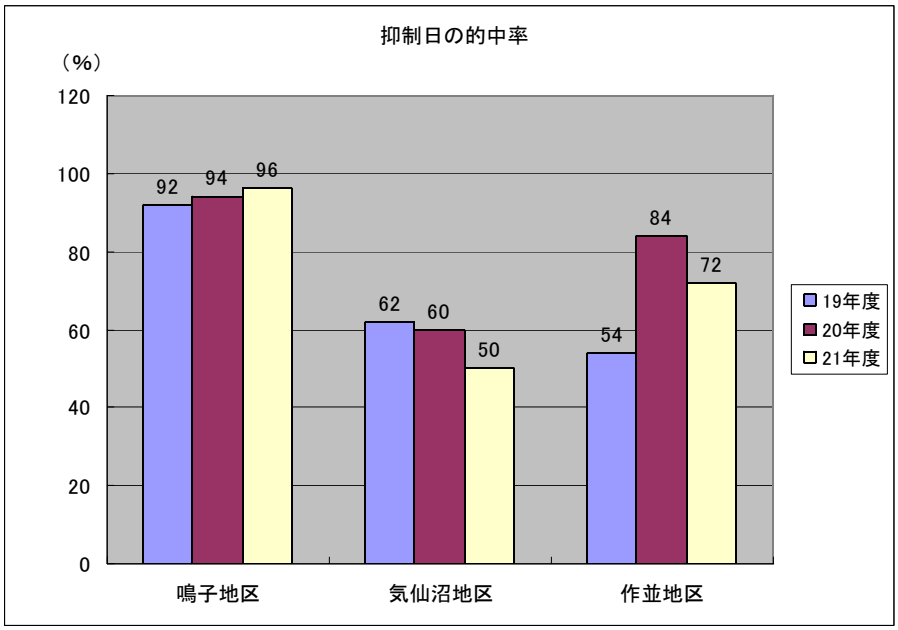
ｉ路上工事抑制カレンダーで設定した抑制日の的確性

平成１９年度～平成２１年度における昼間の１２時間交通量上位５０位で検証した結果、３地区における的中率は次のとおりである。

鳴子地区においては、毎年抑制日を新たに加えたり、修正していることで、的中率が年々上がっている。

気仙沼地区においては、抑制日以外の平日の交通量が多いことから60パーセント程度で推移していたが、昨年冷夏のため海水浴客がすくなかったことなどにより50パーセントに低下した。

作並地区においては、抑制日を新たに加えたり、修正していることから平成１９年度以前よりも的中率が上がっている。



路上工事抑制カレンダー対象区間一覧



②今年度の取り組み内容について

1）2010年度路上工事抑制カレンダー

鳴子地区　：「紅葉シーズン」の抑制については、ほぼ現状を反映した設定となっていることが確認できた。
本年度も同様な考え方で設定する。

気仙沼地区：気仙沼地区の海水浴シーズンについては、過去３年間の交通量を精査した結果、７月２１日から７月３１日までを抑制日とする。

作並地区　：「さくらんぼ狩り」時期の抑制については、交通量が多いことから６月第３週から７月第３週の金曜日を追加設定する。
４月については、昨年から交通量が多いことから第１・第２土曜日を追加しましたが、今年からは、４月すべての土曜日を抑制日に設定する。